

第7回豊能町地域公共交通会議分科会議事概要

日 時：平成25年8月19日（月）午後2時30分から4時12分まで

場 所：吉川支所 2F 会議室

出席者：委員6名 事務局3名

（詳細は資料「豊能町地域公共交通会議分科会名簿」のとおり）

《1》議事進行概要（事務局説明の詳細は各資料参照）

午後2時30分開会

- ・ 各委員の自己紹介及び内田委員長より開会のあいさつがあった

【1】交通計画案について

事務局より下記の説明があった

- （1）交通施策の現状について
- （2）豊能町地域公共交通基本構想骨格案について

⇒本日の意見を参考に、

①案を修正（構想図を短期・中長期に分ける等）し、持ち回りで調整

②修正後の案をもって住民意見聴取を行う

こととした。

また、能勢電鉄にもオブザーバーとして参画してもらい、住民意見聴取や検討を行うこととした。（今後は地域公共交通会議において設置要綱を改正し、委員として参画）

【2】住民の意見聴取について

事務局より、中学校のPTA会長にオブザーバーとして参画してもらい、構想にかかる意見を聞く案が示された

⇒次回分科会において住民意見を聞くため、各中学校のPTA会長にオブザーバーとして参画することを依頼することとした

なお、高齢者意見については、老人会会長が地域公共交通会議委員となっているため、地域公共交通会議で意見を出してもらうか、分科会において東西の老人会より出席してもらうかについて、会長に打診することとした

【3】東西バスのダイヤ改正について

事務局より、東西バスのダイヤ改正案について、前回の案を修正し、別紙「東西バスダイヤ改正案」のとおりとする旨報告があった

⇒東西バスのダイヤ改正に伴う東地区デマンドタクシーとの接続調整について、後日京都タクシーと協議を行うこととした

【4】その他

次回分科会は、9月末～10月上旬に開催（後日調整）

【5】午後4時12分閉会

《2》主な質疑、意見

【1】交通計画案について

○基本構想骨格案について

- ・ 町内移動を中心とした考え方から大きく転換している
- ・ 指標を定めて進めていくことも間違っていないが、全体像を示すことは大切。ただしそれが正しいかどうかは判断がつかないところ
- ・ 構想図は、時間帯によって分けるという考え方もある
- ・ タクシーも公共交通としての地域の財産。計画に組み入れることも大切
- ・ 色々ともどかしい問題があって、新しいことをしたいということもわかるが、今みんなの努力によって守られている地域の財産を使い続けることが大切

- ・ バス路線の構想実現はハードルが高い
- ・ 箕面森町線は府の意向や採算の問題、西地区路線はときわ台内の中型バス運行や、人員とバスの増加による補助金の問題などがある
- ・ 北大阪ネオポリス線を箕面トンネル経由とすると、現箕面市域における輸送力が不足。ただし、1、2便でもできないか協議することも考えられる
- ・ 東能勢線と箕面森町線の接続は、箕面森町方面から池田への接続の要望もあり、物理的に調整が難しい状況

- ・ 南丹市（八木地区）ではデマンドが伸びている。豊能町と背景が全く異なるが、東地区デマンドタクシーも登録制や余野限定等の撤廃を検討してみてはどうか

- ・ 「定住化施策＝通勤通学の重視」と「高齢者にやさしい」の二つの目的を分けて考えるのか
→（事務局）2つの目的だが、実際の高齢者のバス利用は駅利用が多いという状況。幹線とフィーダの整備充実によって、結果的に高齢者にやさしい交通となる、という考え方

- ・ より具体的、詳細な乗降調査をしたうえで路線を検討し、その上で補助金を検討すべき
- ・ 補助により運行ができて、住民の要望に沿ったものでなければ意味がない

○住民の意見聴取の方法（聞き方）について

- ・ 「高齢者にやさしい」の部分として、デマンドにどういったことができるのか、意見を聞いてはどうか
- ・ 人口を増やすために、通勤通学の利便性向上によって若い人を増やさなければならないが、高齢者に重きを置くのか、若い人を中心にするのかは意見が分かれる
- ・ 住民から町に事業者に単に要求するだけではなく、「これならば住民が協力＝利用する」という意見が必要
- ・ 意見として「あったらいいな」と「これはなければ困る」を仕分けすべき
- ・ 構想図はこれが実現されるものだと誤解を受ける可能性があるため、短期と中長期に分けて出し、年次を示してはどうか

【2】住民意見聴取の対象について

- ・ PTA役員のほか老人会など、お年寄りの意見を聞いてはどうか
- ・ 東地区の高齢者がいなければ、デマンドの話は出にくい

【3】東西バスのダイヤ改正等について

（特になし）

【4】その他

- ・ 豊能西線は運行開始当初は利用者が減少したが、現在は増加し、以前の路線なみに推移
- ・ タクシーは約10%利用が減少している